

須賀川市内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

索引 令和6年4月改訂



1:15,000

0 750 1,500m

北部

想定条件

1時間で120mmの降雨

想定最大規模降雨

24時間あたり562.5mm

「内水浸水想定区域(想定最大規模)」はどうやって決めたの?

この内水ハザードマップは、水防法の規定に基づく想定し得る最大規模の降雨である1時間あたり120mm/h(24時間あたりの総雨量562.5mm)で浸水シミュレーションを行い、浸水の広がる範囲とその深さを想定した区域(浸水想定区域)を記載しています。
また、河川水位の上昇に伴い樋門を閉鎖し、内水を河川側へ排水するためのポンプを稼働する条件としています。
堤防からの越水や、堤防が決壊して河川が氾濫した場合を想定した「洪水ハザードマップ」も公表しています。内水ハザードマップとは浸水の範囲や浸水の深さが異なりますので、あわせてご確認ください。

中部

南部②

南部①

浸水の深さの目安

浸水深が0.5m(大人のひざ)程度でも歩くことが困難になることがあるので注意が必要です。浸水深が3.0m以上になると想定されている区域は「早期の立ち退き避難が必要な区域」であり、緊急に避難が必要です。

浸水の深さの見かた

- 20.0m以上 *
- 10.0~20.0m未満 *
- 5.0~10.0m未満 *
- 3.0~5.0m未満 *
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.1~0.3m未満

「早期の避難が必要な区域」

浸水深が3m以上になるおそれがある区域です。災害時は、避難指示などに従って当該区域から安全な場所に速やかに避難してください。

土砂災害警戒区域の表示イメージ

- 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)のイメージ
 - 警戒区域
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
- 「土石流」のイメージ
 - 特別警戒区域
 - 警戒区域
- 「地すべり」のイメージ
 - 警戒区域
 - ※市内に、地すべりの特別警戒区域はありません

凡例

- 避難情報
 - 避難所名: 洪水・土砂災害時に使用する指定避難所
 - 防災行政無線屋外子局
- 土砂災害警戒区域
 - 特別警戒区域(急傾斜地・土石流)
 - 警戒区域(急傾斜地)
 - 警戒区域(土石流)
 - 警戒区域(地すべり)
- その他の地形など
 - ポンプ場
 - 水位観測所
 - 国道
 - 雨水管渠
 - 水域
 - 市域境界線
 - 下水道計画区域界
 - 道路構成員・道路線
 - 等高線・水路構造線・水運線・建築物の外周線
 - 軌道の中心線

※令和6年4月現在(卸町に行っている雨水対策事業は未反映)

測画法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHS 310